

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 長野県 】

学校名【 伊那養護学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部 4年生 5人 ・中学部 全学年 60人 ・高等部 全学年 90人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (体育) ② 行事名 () ③ その他 () <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<p>・パラリンピック種目のボッチャを体験したり、パラリンピアン の体験談を聞いたりすることで、スポーツに対する興味・関心 を高めスポーツを楽しむ心を育成する。</p>
5 取組内容	<p>・児童生徒対象にボッチャについての講習会を行い、ボッチャと いうスポーツを理解する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学級レク、あるいは昼休みの自由時間など、日常生活の中でも ボッチャに自由に取り組める環境を用意する ・体育等でボッチャを体験し、慣れ親しむ。



- パラリンピアンとの体験談を聞くことで、スポーツを身近に感じ、スポーツに前向きに取り組もうとする心を醸成する。



- 希望者でボッチャの競技会に参加し、競技としてのボッチャの楽しさを感じる。

6 主な成果

- ボッチャ初体験の小学部児童も、ボッチャの魅力に触れて楽しさを感じることができた。児童が自分から「また、ボッチャやりたいな」と担任に気持ちを伝えるなど、講習会をきっかけに意欲が高まる姿が見られた。
- 中学部、高等部の生徒の中には、継続的にボッチャに親しむことで、ボッチャのルールを理解し、指導員の支援を受けながら審判の役割を果たす生徒もいた。
- ボッチャの楽しさに触れることで、競技会に出場を希望する生徒もいる。大会に向けて、日常的に練習に取り組みたいと希望する生徒もいる。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 伊那在住のパラリンピアンに加藤正さんとのふれあいを通して、より興味関心をもって競技と出会うことができている。今回、加藤さんと初めて出会った小学部の児童の中には、加藤さんと一緒にボッチャをしながら、率直に思ったことを質問する子もいた。そのたびに加藤さんは、やさしく丁寧に答えてくださっていた。また、繰り返し加藤さん達にご指導いただいていたので、中学部、高等部の中には顔なじみになっている生徒もいる。加藤さんのパラリンピアンとして経験したことのお話や、ボッチャを通じた自然なふれあいを通して障がいや障がい者スポーツへの理解をすすめることができている。 加藤さんにランプスを用意していただいたことで、ボールを投げるのが難しい子どもたちも競技に参加することができた。  <ul style="list-style-type: none"> ボッチャに気軽に取り組みるように、コートの設営を体育館（3面）とどんぐりホール（3面）に行っている。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボッチャに気軽に取り組みるように、コートの設営を体育館やホールに行っている。さらに身近な物となるように（生活に支障のない範囲で）教室の前の廊下等にもコートの設営を検討したい。 本事業によりボッチャセットを購入していただけてきたことで、ある程度の数（6セット）をそろえることができた。お陰で他の他団体から借用しなくても、ある程度の集団でも一緒にボッチャを楽しめるようになった。これからもボッチャの用具の整備につとめていきたい。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ボッチャを、体育の授業や、休み時間の活動など日常的な取り組みにしていく。 日本でのパラリンピックの開催により、ボッチャへの関心が高まったせいも、ボッチャの用具の借用依頼が増加した。また、地域校交流や副学籍校交流などの活動として実施を希望する声も寄せられているので、実施ができるように検討していく。